

Rotary



ロータリーは世界をつなぐ

2019～2020年度 マーク・ダニエル・マローニョ RI会長テーマ

WEEKLY BULLETIN

2019年12月12日(3344例会)(創立69周年) 呉ロータリークラブ週報 NO.3258

■呉RC 2019～2020年度テーマ 「語り合いから始まるクラブの絆」

会 長 志々田 幸 治
副 会 長 山 村 貞 夫 幹 事 大 塩 俊 会長エレクト 長 尾 正 嗣
直前会長 森 澤 大 司 会 計 天 野 成 幸 会場監督 坂 田 健 治

(事務局) 〒737-0045 呉市本通4丁目8-12 (例会場) 〒737-0051 呉市中央1丁目1-1 呉阪急ホテル
呉商工会議所ビル南館7階 705号室 ☎(0823)20-1111 FAX(0823)20-1120
☎(0823)24-4411 FAX(0823)21-5692 (例会日時) 毎週木曜日 12:30～13:30
E-mail▶kure3rc@urban.ne.jp HP/URL▶http://www.kurerotaryclub.jp My Rotary▶https://my.rotary.org/ja/user

今週のメインプログラム

社会奉仕委員会担当例会

「夢は、減塩で日本人の健康寿命を延ばし、
こどもの将来の病気を防ぐこと」

会員卓話 日下美穂君

次週のメインプログラム

12月19日(木) 休会

12月26日(木) 忘年家族例会

18:00～ 呉阪急ホテル

第3343例会記録【12月5日(木)】

【プログラム】 ◇呉ロータリークラブ 2019 - 20年度 年次総会

◇航空エンジン産業で活躍する IHI 呉第2工場

株式会社 IHI 航空・宇宙・防衛事業領域 生産センター 副所長(兼) 呉第二工場 工場長 森田昭彦様

◇本日の主菜「ムカイノヒカリ新米」: 生産者/向井淳滋君

【出席率】 前々回 休会 今回 85.92%(会員74名・欠席10名・免除3名)

【来客】 ◇株式会社 IHI 航空・宇宙・防衛事業領域生産センター 副所長(兼) 呉第二工場 工場長 森田昭彦様

◇株式会社 IHI 航空・宇宙・防衛事業領域生産センター 生産管理部 調達グループ 部長 権田幸謙様

【他クラブ出席者】 ◇菅原君(12/4 呉東) 1名

【欠席者】 ◇井上・岩本・尾川・下瀬・高橋・武田(信)・太刀掛・森澤・山本・菅原君 10名

【出席免除者】 ◇奥川・尾田・海生(孝)君 3名

【年次総会】 ①志々田幸治会長 開催の言葉

②志々田幸治・理事指名委員長 経過報告及び推薦者発表

会長 長尾正嗣君 副会長 長行事義人君 幹事 石田直樹君

会長エレクト 福田多喜二君 会計理事 清宗一男君

理事 大之木精二君 奥原祥司君 多賀 茂君 宇都宮公德君

③志々田幸治会長 拍手をもって全員承認 閉会の言葉

【幹事報告】 ◇RI...the rotarian 12月号(回覧)

◇RI 日本事務局...疾病予防と治療月間リソースのご案内(回覧)

◇RI 日本事務局経理室...ロータリーレートのお知らせ。1\$=108円(先月から変更なし)。(回覧)

◇RI 日本事務局財団室...財団室ニュース(12月号)(回覧)

◇RI ローター第2710地区晝田ガバナー...大会事務局閉鎖のご案内(回覧)

【S.A.A】 ニコニコ



◇畦 淳造君...本日の中国新聞に新地場企業群像という中で当社の記事が掲載されました。だいぶ盛ってありますから、八掛けで読んで頂ければと思います。中国新聞さん、ありがとうございました。

◇中野誠吾君...先日、3歳の長女の七五三のお参りに行ってきました。亀山神社様、ありがとうございました。何かちょっと泣きそうになりました。

◎ニコニコ基金累計金額 835,000円

【今後の予定】 ◇12月12日(木) 13:40～ 第1回被選理事会 呉阪急ホテル

② 社業の大改革

武田 保信



私が手掛けた社業の大改革として、まず、長年の製網事業を思い切ってやめるための準備を始めました。全国の同じような業者を回り、話を聞いて網を続けるかどうかを考えた末に、見切り時だと思いました。そして工場の跡地をどう利用するかについて検討し、賃貸事業を開始する見通しが付いたために平成4年に工場を閉鎖したのです。

工場を閉鎖する時、社名を変更しようと思って当時の役員や従業員に相談しました。彼らは「武田製網は名門であり、変えなくてもいい」との答えでした。ほかに適当な名前もないし、製網の産地としての歴史も踏まえて「慌てて変える必要もない」と、そのままにしました。ただ、長年、製網に携わってくれた従業員のために、工場はなくても仕入れ売りをして、漁網の仕事はその人たちが退職するまで、細々と続けたのです。最終的に、うちが漁網を完全に扱わなくなったのは平成26年のことです。

大改革の柱は、不動産事業と石油販売（ガソリンスタンド等）を中心にした業態にすることでした。呉に本社工場、広に第二工場があり、その跡地を賃貸に回しました。期限がくれば建物を解体して更地にして返してもらう、という事業用借地権の手法です。

もう一つは、父の代の昭和38年から始めた石油販売の事業の立て直しです。石油販売は子会社にして、一時は5カ所のガソリンスタンドを持っていましたが、かなり経営は悪く、本業の足を引っ張っていたのです。それでも残そうとしたのは、こんな思いからでした。不動産の賃貸は、ある意味では汗を流さなくていいが、石油の販売は日々、汗を流す商売だから、と。うまくやるには50年にかかると思いましたが、何とか立て直して平成11年に営業譲渡を受ける形で子会社を整理しました。今ではガソリンスタンドは広の1カ所ですが、売り上げは順調です。

うちの会社は昔から、事務所はぼろでいい、とという方針でした。私のおじに当たる専務がしまり屋で、事務所はもうけてくれない、掘っ立て小屋で十分だといつも言っていました。その伝統は、今も生きています。

武田製網の株は、昔からたくさんの会社に持っていただいていた。それもお願いして買い戻しました。それが終わったのが平成13年です。その後、平成23年に長男に社長を譲り、会長となりました。ただ、これからはどうするか。ガソリン販売にしても、近い将来は電気自動車の時代ですから。これから、どんどん世の中が変わってくため、次のことを考えていかないといけません。



昭和38年、呉SSの開所式。石油販売に乗り出した